

百日咳の届出状況について

百日咳は、長野県内及び長野圏域において患者の発生が続いています。
咳などの症状がある方は早めに医療機関を受診されるとともに、マスクをつけ、咳エチケットを守りましょう。



○百日咳ってどんな病気？

- 百日咳は、百日咳菌による感染症です。
- 咳やくしゃみに含まれる菌によって感染します（飛沫感染）。
- 激しい咳をともなう病気で、1歳以下の乳児、特に生後6か月以下の乳児では無呼吸発作など、重症化することがあります。（死亡例もあります。）
- 年長児や成人では、比較的軽い症状で経過することも多く、受診・診断が遅れ、感染源となることがあります。乳児の周りでは特に注意が必要です。
- 治療には抗生剤の投与がおこなわれますが、早期の治療が重要です。

○症状は？

- 普通のかぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。
- その後、特徴のある発作性けいれん性の咳（痙咳）となります。また咳とともに嘔吐を伴うこともあります。
- 2～3週間で激しい発作は次第に治まりますが、まれに忘れた頃に発作性の咳が出ることがあります。
- 年長児や成人では、比較的軽い症状で経過することも多く、典型的な症状を示さないことがあります。

○予防、感染拡大防止するには？

- 手洗い、マスクの着用、咳エチケット等の基本的な感染対策が重要です。
- 百日咳の予防には**予防接種**（5種混合ワクチン等）が有効です。
生後2か月から予防接種法に基づく定期接種を受けることができるため、できるだけ早く、計画的に接種しましょう。
- 百日咳は学校保健安全法における出席停止となる対象疾患です。診断された際は、学校に報告し、出席停止期間について確認しましょう。

○県内の百日咳届出数の推移（速報のため、今後の集計で変更が生じることがあります。）

